

|                        |
|------------------------|
| <b>地理歴史科，公民科 授業構成案</b> |
|------------------------|

**1 基礎情報**

|            |  |    |             |
|------------|--|----|-------------|
| 教科         | 地理歴史   | 科目 | 世界史B（世界史探究） |
| 主題名（単元）    | 百年戦争 14～15世紀の西ヨーロッパにおける中央集権化                 |    |             |
| 副題         | －日欧教科書比較・メモリーツリー・効果的な事前/事後学習の3つを用いた、歴史解釈の授業－ |    |             |
| 教科書<br>副教材 | 『詳説世界史B』（山川出版社）<br>『ニューステージ世界史詳覧』（浜島書店）      |    |             |

**2 資質・能力**

|                           |  |  |  |
|---------------------------|--|--|--|
| ねらい（単元目標）                 | <p>単元を貫く問い「百年戦争から読み取れる、中世から近世への変化（中央集権化）とはどのようなものであったか」</p> <p>百年戦争を記述した複数の資料（日本5種とヨーロッパの教科書記述）を比較する学習活動を基に、歴史叙述における視点設定の重要性に気付かせる。それとともに、自ら設定した視点から、百年戦争を通して中世後期（十字軍以降）から近世にかけての西ヨーロッパ社会の変化を表現させる。これにより、中世ヨーロッパ史の単元全体を振り返り、概観させる。</p> |  |  |
| 身に付けさせたい力<br>（期待される生徒の変容） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の資料から、歴史叙述における視点の多様性を認める力</li> <li>・自分で立てた視点を基に、情報を要約し、説明する能力</li> <li>・具体的な事例から、時代の変化を読み取り、自分の言葉で表現できる力</li> </ul>  |  |  |
| 資質・能力<br>獲得の証拠            | 比較   | ・複数の資料（教科書記述）を比較し、その視点の違いを読み取る。  |  |
|                           | 思考力  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の視点を参考にしつつ、根拠をもって自分なりの視点を立てる。</li> <li>・具体的な事例を基に、大きな時代の変化を読み取る。</li> </ul>                      |  |
|                           | 要約・表現<br>（言い換え）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の視点と読み取りを基に、百年戦争に新たな名称をつける。</li> <li>・自分で立てた視点・新たな名称を基に、資料（『欧州共通教科書』）を要約し、自分の言葉で表現する。</li> </ul> |  |
|                           | メタ認知   | ・単元の導入で作成したメモリーツリーと、単元の最後に作成したメモリーツリーを比較することで、今回の学習活動によって、学び合った点や自分の理解が進んだ点を自ら見いだす。  |  |

### 3 指導計画（概要）

以下 W=ワークシート S=ワークシートのstepを示す

|             | 教員の働きかけ（主な発問等）  | 生徒の活動  |
|-------------|---|--|
| 指導計画①（事前学習） | 【復習①】西欧中世の封建的主従関係における、国王権を確認させる。＜W1 S1＞   | ・封建的主従関係の図と西欧の地図から、国王権が及ぶ範囲に印をつけ、既習範囲を復習する。  |
|             | 【復習②】11世紀以降のイングランド領の変遷を『ワールドヒストリカルアトラス』をプロジェクトで投影し、確認させる。                             | ・地図資料からフランス王家の支配領域の狭さや、イングランド王家が大陸にも領土をもっていたことを読み取る。   |
|             | 【復習③】十字軍以降のヨーロッパ社会の変化を確認させる。＜W1 S1＞   | ・資料の流れ図を基に、中世後期の社会変動を復習する。   |
|             | 【課題提示】「A～E・百年戦争の教科書比較の内容を次の授業までにまとめなさい。また、まとめた際に疑問に思った点や、もっと知りたい点をワークシートに記入しなさい。」＜W2＞ | ・5人1組のグループを作り資料A～Eを分担する。<br>・ワークシート2（A～E）の内容をメモリーツリーの手法を用いてまとめる。<br>・疑問点等を出すことで、自分なりの単元に対する問いを立てる。 |

※指導計画①は事前指導であるため、15分程度で実施

|       | 教員の働きかけ（主な発問等）   | 生徒の活動   |
|-------|--|---|
| 指導計画② | 【問①】「ワークシート2の資料A～Eの内容の違いは何か？」＜W2＞＜W1 S3＞   | ・ワークシート2の資料A～Eを1分ごとに回し読みする。その際、自分の記述と大きく異なる部分に付箋をつける。<br>・各資料の記述の違いをグループで比較する。<br>・教科書掲載されている資料の記述内容の比較を通じて、同一事象に対して異なる記述がされていることを認識することで、学習意欲を高める。 |
|       | 【問②】「百年戦争について教科書の記述が異なる理由は何か？」   | ・戦争の原因や展開について、複数の考え方があることを理解する。   |
|       | 【問③】「そもそも、『百年戦争』という名称はいつから用いられているのでしょうか？」＜W1 S4＞                                     | ・百年戦争という名称の成立やジャンヌ＝ダルク顕彰が、19世紀のナショナリズム高揚という時代背景に基づくものであることに気付く。   |
|       | 【問④】「あなたは、百年戦争に代わる新たな名称を、どのような視点から、どう名付けますか？」＜W1 S5＞                                 | ・グループでの意見交換を行い、自分なりの視点を立て、「百年戦争」に代わる新たな名称案を考える。   |
|       | 【振り返り】「各自が考案した仮の名称を班内で発表し、その名称をつけた理由を説明してください。」                                      | ・立てた視点により、資料から取り上げるべき語句が異なることに気付く。  |
|       | 【課題提示】「ヨーロッパではこの『百年戦争』をどのように見ているのでしょうか？」「自分の考えた名称を説明するのにふさわしい語句を資料から選び出しなさい。」＜W1 S6＞ | ・資料（『欧州共通教科書』）を読み、日本の教科書との記述の違いを比較する。   |

|       | 教員の働きかけ（主な発問等）  | 生徒の活動   |
|-------|---|---|
| 指導計画③ | 【解説】【映像視聴】ワークシート2に生徒が記入した疑問やもっと知りたい点などを含めて、百年戦争についての基本的な説明を行う。質問の内容によっては、ジャンヌ＝ダルクに関する映像を視聴させ、理解を促す。 | ・基本的な用語や事実関係を理解する。  |
|       | 【問①】「前回の授業で考えた百年戦争に代わる新名称を踏まえて参考資料を読み、気付いた点は何か？」<W1 S 6>  | ・グループワークで、各自が資料から選択した語句を比較検討し、他の生徒の気付きから、前時で立てた視点や資料からのキーワード抽出に改善すべき点がないか各自が検討する。 |
|       | 【課題提示】「グループの他の人の意見も参考にしつつ、再度、百年戦争に代わる新名称を考え、その名称に対応したまとめ図を完成させなさい。」                                 | ・各自で、資料から選択した語句の関連をメモリーツリーの手法で表現する。   |

※指導計画③は授業時間の半分は通常の講義形式をとる

|       | 教員の働きかけ（主な発問等）   | 生徒の活動   |
|-------|--|---|
| 指導計画④ | 【問①】「それぞれのワークシート（新名称・メモリーツリーによるまとめ図）の良い点は何ですか？また、比較してみて、気付いた点は何か？」<W1 S 6>                 | ・グループ内で、他の生徒が書いたまとめ図を回し読みし、視点により資料から取り上げた語句や用いる表現が異なることに気付く。  |
|       | 【発表】グループごとに代表作品を紹介   | ・まとめた内容を代表生徒が発表する。  |
|       | 【振り返り】「最初に書いたワークシート2のメモリーツリーと、最後に書いたワークシート1 step6のメモリーツリーを比較すると、今回の学習活動で自分が学んだ点や気付いた点は何か？」 | ・各自が思考・判断の基準とした視点を客観的に振り返り、今回の学習で理解が深まった事柄や高まった能力がどのような点であったのかを確認する。<br>・同一の歴史的事象に対して異なる解釈や多面的な叙述が可能なことを理解する。 |

#### 4 その他

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 参考資料                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『百年戦争—中世末期の英仏関係—』城戸毅 刀水書房 2010</li> <li>・『英仏百年戦争』佐藤賢一 集英社新書 2003</li> </ul>   |
| 活用が期待されるICT機器・アプリ等【機】ICT機器，【ア】アプリ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター，タブレット【機】（写真・地図及び下記歴史地図を投影）</li> <li>・プロジェクター，実物投影機【機】（ワークシートを投影）</li> <li>・ワールドヒストリカルアトラス【ア】<br/>（歴史地図・1年刻みで領域・君主を表示）<a href="http://x768.com/w/twha.ja">http://x768.com/w/twha.ja</a></li> </ul> |